令和3年度　森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績																					税導入の効果
							森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				その他	
							森林所有者への意向確認		間伐等実施面積			路網整備								研修や普及啓発イベント等			公共施設等の木材利用					
																事業体等への助成		研修、講習、求人イベント等										
																							施設数	木材使用量(m3)		その他		
		(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）	(C)「(A)うち森林環境譲与税」のうち、令和４年度への繰越（千円）		森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	アンケート等による意向確認実施面積(ha)	間伐(ha)	除伐(ha)	その他（作業種、実績値を記載）	林道・林業専用道の開設延長(m)	森林作業道の開設延長(m)	その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）			うち国産材(m3)			
② 意向調査、集積計画等作成	森林環境整備事業	1,947	1,947			森林の現況調査や森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査を委託	337																					【ワンフレーズ】 税活用により ・森林の現況調査や意向調査を実施したことにより、令和４年度以降に引き続き行う意向調査を実施すべき森林及び確実に経営管理がされる森林等の把握に繋げることができた。 ・国立公園及びその周辺地域の私有林について、災害防止・景観や水質の保全・野生動植物の保護等の観点から、取得に要する費用を支出した。(443ha) ・本道の林業及び木材産業の次代を担う人材の育成に係る支援を行うことができた。 【詳細】 今年度の意向調査の対象とした337haの意向調査を行い、町や森林組合に管理を委ねるなどして確実に森林整備が見込まれる森林が107haあり、今後森林整備が行われることにより森林の有する公益的機能の発揮に繋がることが期待される。 また、本町は、釧路湿原国立公園の65%の面積を有しており、公園内及びその周辺地域の災害防止・景観や水質の保全・野生動植物の保護等を行い、釧路湿原の持つ遊水機能や多様な生物を保全していくことなどが求められているところ。近年は湿原やその周辺地域の開発により釧路湿原本来の希少な自然が損なわれることが危ぶまれており、これらの一端を担うべく、町において私有林の取得を行った。 　今後は取得した森林において間伐の実施や人工林を広葉樹化していくなど、森林の有する公益的機能の発揮に繋げることに努めていく。 残額は令和4年度の森林整備事業等に活用するため、基金に積み立てた
⑦ その他（森林整備）	森林環境整備事業	82	82			北海道において整備する森林統合クラウドシステム利用に係るネットワーク強靭化のための利用料									森林統合クラウドシステム利用に係る北海道とのネットワークの強靭化のための利用料													
⑦ その他（森林整備）	森林所有者情報整備事業	966	966			適正な森林情報の管理・運用のため森林GIS及び林地台帳データの整備・更新及びシステム保守									森林GIS及び林地台帳データの整備・更新及びシステム保守一式													
⑤ 森林保護対策	森林環境整備事業	5,332	5,332			国立公園及びその周辺地域の私有林(約443ha)について、災害防止・景観や水質の保全・野生動植物の保護等の観点から、町において取得し、適切な森林整備等実施していく。																						国立公園及びその周辺地域の私有林の取得(443ha)
⑧ 担い手確保	森林環境整備事業	50	50			北の森づくり専門学院のインターンシップ等における支援を目的とした北海道林業・木材人材支援協議会の負担金として													北海道林業・木材人材支援協議会の負担金									
	計	8,377	8,377																									